

ドミニカ共和国
医学教育プロジェクト
運営指導調査団報告書

2000年11月

国際協力事業団
医療協力部

序 文

国際協力事業団は、ドミニカ共和国 国立ルイス・E・アイバール複合病院における医学教育プロジェクトを 1999 年 10 月から 2004 年 10 月までの 5 年間の予定で実施しておりますが、2000 年 6 月には同病院内にわが国の無償資金協力により建設された医学教育・訓練センターが開所し、2000 年夏以降、実質的な技術協力活動が展開されております。

プロジェクト開始後約 1 年を経過した時点で、あらためて日本側、ドミニカ共和国側の参加者が一堂に会して現状把握と活動目標・内容の整合性検討に向けた PCM ワークショップを行うため、2000 年 10 月 22 日から 11 月 2 日までの日程で、大分医科大学三舟求真人副学長を団長とした運営指導調査団を派遣いたしました。本報告書はその調査結果を取りまとめたものです。

ここに、本調査にあたりご協力を賜りました関係各位に対しまして深甚なる謝意を表しますとともに、今後のプロジェクトの実施・運営にあたり、関係各位のさらなるご協力をお願いする次第です。

2000 年 11 月

国際協力事業団

医療協力部長 遠藤 明



PCMワークショップ



PCMワークショップ



合同委員会

目 次

序 文

写 真

1 .運営指導調査団の派遣	1
1 - 1 調査団派遣の経緯と目的	1
1 - 2 調査団の構成	1
1 - 3 調査日程	2
1 - 4 主要面談者	2
2 .要 約	4
2 - 1 PCM ワークショップの実施によるプロジェクト目的・活動の策定	4
2 - 2 「ド」側負担予算執行の遅延への対応依頼	5
2 - 3 疫学分野介入対象の絞り込み	5
3 .総 括	6
3 - 1 運営指導調査団派遣の目的と背景	6
3 - 2 プロジェクトの目的・活動内容の策定	6
3 - 3 公衆衛生学の教育	6
3 - 4 結 び	7
4 .PCM ワークショップ	8
4 - 1 本PCM ワークショップの目的	8
4 - 2 ワークショップの前提条件	8
4 - 3 ワークショップ開催場所	8
4 - 4 ワークショップ日程と所要時間	9
4 - 5 ワークショップ参加者	9
4 - 6 ワークショップ結果要約	10
5 .PCM ワークショップによる分析作業結果と解説	12
5 - 1 導入部	12
5 - 2 参加者分析	13
5 - 3 問題分析	15

5 - 4	目的分析	16
5 - 5	プロジェクトの選択	17
5 - 6	PDM の作成	18
5 - 7	別添資料	21
6	PCM ワークショップの評価 / まとめ	33
7	今後のモニタリング・評価活動と PDM の関連	34
附属資料		
	プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) (日本語・西語)	39
	協議ミニッツ (英語・西語)	41
	活動計画表 (案)	69